



# 図書館だより

平成21年12月

## 主な内容

- 卷頭言・「がん関連図書」リニューアル ……1
- 「この本いいよ」「こども室紹介」…………2
- 邑南町立図書館石見分館オープン…………2
- 館内展示コーナー ………………3
- レファレンス事例紹介 ………………3
- おしらせ・利用案内 ………………4

※行事予定は、カウンターでお渡します。

## 情報満載と発信力の県立図書館

松江市歴史資料館整備室 専門官  
宍道 正年

最近私にとって正に目からウロコとも言うほどの県立図書館の魅力とありがたさを驚きをもって、たて続けに実感しました。

まず昨年の秋、松江市月照寺寿蔵碑（大亀の石）の建立年代を知りたくて県立図書館へ電話したところ、直ちに司書の方がズバリ解決の手引きとなる文献のコピーを準備して下さいました。そのおかげで解答を絞り込むことができたのです。二つ目は今年9月のこと。かつて明治から大正そして昭和の初めまで島根県稻作奨励品種として広く普及していた「北部」という品種についての資料を求めたところ、前回同様早速60年前の雑誌の記事を提供していただきました。埋もれた歴史資料として貴重なものでした。三つ目はその翌月のことでした。江戸時代の半ば頃、清原太兵衛によって開削された宍道湖と日本海を結ぶ佐陀川。その開削のキーポイントになる鹿島町近辺の古地図を照会したところ、この時も間髪入れずに大正4年作製地図をコピーして下さいました。この地図が糸口となって、佐陀川開削工事過程の新事実が判明したのです。県立図書館がこのような歴史・地理分野も含めた幅広い膨大な資料のデータバンクであることと、問い合わせに対して的確に迅速に対応される職員の専門性の高さと親切さに対し、改めて感服しました。

ところで、私は現在、松江城の堀端で着々と建設

が進んでいる「松江歴史館」の開館に向けて、その準備に携わっています。この館は“お城の見える博物館”として、城を中心とした城下町松江、あるいは出雲と隠岐のほぼ全域を治めた松江藩の魅力を、ビジュアル的に親しみやすく知ることのできる学習・観光施設です。松江市指定文化財を復元した長屋とか日本庭園に面した学習の場「指南所」など特色はもりだくさんです。

歴史資料の保存と活用という点では、県立図書館と共に使命を担っています。そしてこの館では、始めにご紹介しました県立図書館のご協力やご教示によって知りえた事実を含め、郷土の歴史に関する様々な調査・研究の成果を皆さんにお伝えしたいと思っています。開館予定の平成23年3月をどうかご期待下さい。



建設工事中の松江歴史館

## 「がん関連図書」コーナーをリニューアルしました！

がんへの理解を深めてもらおうと、9月20日より新しい「がん連図書」コーナーを雑誌コーナー横に開設しています。

県医療対策課の協力により、「ふるさと島根基金」を活用して新たに購入した約160冊を加え、関連図書約360冊を集めています。

このコーナーの図書は、県内の市町村図書館を通じて遠隔地にお住まいの方にも貸し出しを行っています。

どうぞご利用ください。



※図書リストは県立図書館HPをご覧いただけます。

# 「この本いいよ！」大募集!!

## 応募結果を展示しました



☆県内の高専生・高校生がお奨めの本をコメントつきで紹介。今年は92点の応募があり、うち20点を県立図書館で展示しました。

☆話題の「1Q84」や24時間TVで放送された闘病日記「にいにのことを忘れないで」、人気のライトノベルまで多彩な作品が揃いました。

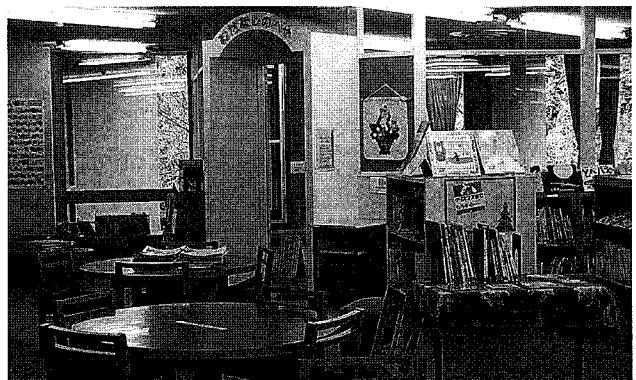
## 「こどもしつ」へようこそ！

島根県立図書館のこどもしつは、一般の閲覧室（2階）とは別に1階にあり落ち着いた空間です。ここでは0歳から小学生までの子どもたちとその家族、子どもの本を研究する人、読書ボランティア、子どもの読書にかかわる職員など、さまざまな人が利用します。

いろいろな行事もしています。乳幼児対象の「親子で絵本を読む会」、小学生対象の「おとうさんといっしょに絵本を読む会」「図書館探検ツアー 子ども版」もあります。幼児、小学生対象の「子どもお楽しみ会」や「こどものつどい」は、ボランティアのみなさんと協力し、楽しい企画をしています。

また、県内の各地へ出向き、「市町村読書普及研修会」や、ゆめ基金事業「子どもと本をつなぐ講座」を開催し、県内の子どもの読書にかかわる人々の研修をしています。子どもの読書に関する研究資料の収集にも力を入れています。

ホームページには「おすすめしたい子どものほん」のリストやテーマ絵本のリストなどを掲載しています。どうぞ、さまざまな場面で活用してください。



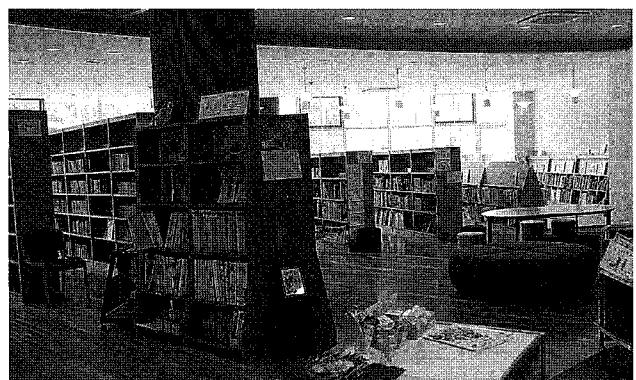
子ども室「おはなしのへや」

## 邑南町立図書館石見分館オープン！

平成21年4月1日に、邑南町立図書館石見分館が建物を新しくしてオープンしました。矢上交流センターと併設で延床面積466㎡。児童コーナーやレファレンスコーナーを設け、石見地域の拠点となる本格的な図書館です。

邑南町立図書館 石見分館

邑智郡邑南町矢上3835-4  
TEL (0855) 95-1044



カウンターから開架書架

# 館内資料 展示コーナー

お勧め  
したい本

県立図書館では毎月テーマを決めて資料の展示を行っています。9月から11月に展示した資料の中から、皆さんに是非読んで頂きたい本を紹介します。

※展示リストはホームページからもご覧になれます。

※URL: <http://www.lib-shimane.jp>

## 9月テーマ 道・みち・路 に関する資料展

### 『県別全国古街道事典 東日本編・西日本編』

東海道、甲州街道、中山道、日光街道、奥州街道の5街道や世界遺産の熊野古道をはじめ、全国に残る古街道を県別2冊に分け、その歴史と現状を紹介。

### 『週刊日本の街道』

はるか昔から、峠を越えて里を結んで続く日本の街道。全国の街道を地域ごとに100冊にまとめ、沿道の風土、歴史、文化、伝統等を多くのカラー写真で紹介したビジュアル雑誌。このうち石見銀山街道等15冊を展示。

## 10月テーマ 北前船資料展（中国地区県立図書館共同展示）

### 『海の総合商社 北前船』

北前船とはどんな船だったのか。江戸中期から明治30年代まで、日本海を航海し大阪と北海道を結んだ北前船の歴史を、海上交通や交易、和船の発達、船乗りたちの信仰など様々な面からひもといた1冊。

### 『近世日本海運史の研究』

日本の近世海運について、その経済と経営に視点を置いた研究書。近世社会の経済に近世の海運が果たした役割の重要性を浮き彫りにする。石見国銀山領の城米輸送についての論述を含む。

## 11月テーマ 教科書の歴史

### 『図説教科書の歴史』

海後宗臣監修 日本国書センター 1996年刊

明治以前から昭和時代の教科書の歴史が写真により体系的に編集されており、過去の教科書のイメージがつかみ易い概要書。漢籍、国語、習字、算数、地理、歴史、道徳等、科目ごとに掲載。

### 『小学国語読本 卷1~12 (昭和世代第四期国定教科書復刻版)』

文部省編刊 秋元書房 復刻 1970年刊

対象の年代の人には懐かしい国定国語教科書(復刻版)。第一巻は「サイタ サイタ サクラ ガ サイタ」のサクラ読本(昭和8年)。第三巻は「国引き神話」掲載。

### 『尋常小学算数 卷1 (国民学校期国定教科書)』

文部省編刊 1935年刊

色刷りの挿絵や図を多く用い、「縁表紙」と呼ばれた画期的な算数教科書。

## レファレンス事例紹介

こんな問い合わせがありました



島根県の過去の気温や降水量などを知りたい



島根県の気象データについて調べるには、『島根県の農業気象』や『山陰の気象暦と潮汐』といった資料があります。『島根県の農業気象』には月報と年報があります。月報は一ヶ月ごとに発行されており、最近のデータや一日毎のデータを調べることができます。年報は一年間のデータをまとめているので、月ごとの平均のデータになります。

もっと昔のデータを調べるには『島根の気象百年』という資料もあり、明治26年から平成4年までの月平均のデータが一覧できます。また、松江地方気象台のホームページでも過去の気象データを公開しています。

#### ●参考文献

- 『島根県の農業気象』(月報、年報) 島根県・松江地方気象台発行
- 『島根の気象百年』日本気象協会松江支部発行、1993年
- 『山陰の気象暦と潮汐』年刊 アクト・ウェザー発行
- 松江地方気象台ホームページ: <http://www.jma-net.go.jp/matsue/>



島根県の雑煮の種類が知りたい



島根県は東西に長いため、地域によって食文化の違いがみられます。

「島根の雑煮の分布と変遷1~3」(『島根女子短期大学紀要26、31、32号』掲載)では、聞き取り調査をもとに、島根県下の6つの雑煮圏を明らかにしています。出雲部は小豆、海苔、海苔・小豆混在圏、県中央部は5種の材料を載せた五色圏、県の西部一帯は黒豆圏、隠岐島は椎茸圏、この他に豆腐、鮎、貝、野菜などを具材とする例が紹介されています。

また、この資料の他に、島根県全体の食文化をまとめた『聞き書き 島根の食事』なども参考にできます。

#### ●参考資料

- 『島根女子短期大学紀要』26,31,32号
- 島根県立女子短期大学刊 1988~1994
- 『聞き書き 島根の食事』(日本の食生活全集32)
- 農山漁村文化協会刊 1991

# 「出雲国風土記を読む会」は31年目 「古文書を読む会」は41年目になりました

当館で長寿を誇る講座が2つあります。

全国で唯一完本として残る「出雲国風土記」を読み解き、文献に現れる古代出雲について学ぶ「出雲国風土記を読む会」は昭和54年に始まりました。毎回、100人近い参加者があり、人気を誇っています。

また、郷土に関連する古文書をテキストにくずし字の世界を学ぶ「古文書を読む会」は昭和44年に始まりました。島根県内にはこの講座の「お弟子さん」がたくさん育っていると思われます。講師の藤岡大拙先生と受講者の方々の熱意で積み重ねられた講座の歴史を継続し、郷土への愛着を一層深めていただきたいと思います。

\*集会室の椅子・机をリニューアルしました。モバイルパソコンが載せられるA4サイズの可動式メモ台がついて使い易くなっています。多様な用途に対応できるようレイアウトしています。



「出雲風土記を読む会」講座風景

## 本館のエレベーターの改修工事を実施いたします

エレベーター改修工事を行います。期間は、平成22年1月25日～平成22年3月5日までです。車椅子などで2階中央カウンター等を利用される場合は、正面玄関左側返却ボスト付近のチャイムを押してください。また、1階子ども室カウンターに申し出ていただても結構です。職員がご案内いたします。ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いいたします。

### 開館日カレンダー

平成21年、22年



### 12月 展示：松本清張の世界～生誕100年によせて

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

### 1月 展示：雪に関する資料展

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

### 2月 展示：辞書のはなし

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

■黒字…9:00～18:00 ■青字…9:00～17:00

■赤字…休館日

### 読書普及指導員を派遣します

保護者参観や職員・ボランティアの方の研修会等で、親子読書や読み聞かせの基本的な考え方やポイントなどお話しします。  
お問い合わせ 子ども担当 (0852-22-5746) または 西部読書普及センター (0855-23-6785)まで。

### お近くの市町村図書館を通して貸出します

すべての県民の皆さんに県立図書館の資料を利用してもらうため、市町村の図書館などを通して資料の貸出を行っています。  
①県立図書館に求める資料があるかどうかは、インターネットの蔵書検索（県立図書館HP）や、電話での問合せ（0852-22-5748）またはお近くの市町村図書館までおたずねください。  
②借りたい資料が決まりましたら、お近くの市町村図書館（図書館未設置の5町村は中央公民館等）へお申込みください。週1回市町村図書館等へ発送します。

### 郷土資料収集のお願い

島根に関する資料（古いものも、新しいものも）を収集・保存しています。ご寄贈、情報のご提供をお願いします。

### 利 用 案 内

- 開館日時間 火曜日～金曜日 3月～10月 9時～19時  
11月～2月 9時～18時  
土曜日・日曜日・祝日 通年 9時～17時
- 休館日 毎週月曜日（祝日にあたるときは開館）・第1木曜日  
年末年始 12月28日～1月4日・特別整理休館

※詳しくは開館日カレンダーをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.lib-shimane.jp>  
編集発行 島根県立図書館 〒690-0873 松江市内中原町52  
TEL 0852-22-5725 FAX 0852-22-5728

発行日 平成21年12月10日